

地域の団体や企業などで認知症サポーター養成講座を開催しませんか？

認知症サポーター養成講座では、認知症の正しい知識をもち、自分のできる範囲の手助けをする認知症サポーターを養成しています。市内の小中学校をはじめ、地域住民、公共機関や銀行などで開催しており、毎年多くのサポーターが誕生しています。

開催を希望される団体や企業などがありましたら、お気軽に長寿健康課までお問い合わせください。

▼企業・一般の講座の様子



▼小学校での講座の様子



— 参加者の声 —



学 生

行動や感情を理解し、優しく話を聞いて相手が辛い思いをしないようにしたいです。



地域住民

認知症かな？と思う方に出会った時は、ゆっくり・はっきりと分かりやすく対応したいと思います。

【講座内容】

- ▶時間 60分～90分程度（相談に応じます）
- ▶内容 認知症の基礎知識、認知症の方への対応
- ▶参加料 無料

敦賀市認知症サポーター活動中！

養成講座受講後、地域でのサポーター活動を希望された方々が様々な場面で活動されています！



◀小中学校での認知症サポーター養成講座のお手伝いの様子



◀敦賀つながりカフェ（認知症カフェ）の運営・相談対応の様子

わたしたちと一緒に
地域で活動しましょう



- 過去に発行した認知症ハンドブックは市HPや右の二次元コードよりご覧ください。

ほっとけんまちハンドブック

検索



【協力】

敦賀市認知症支援推進協議会

【問い合わせ先】

長寿健康課 ☎22-8181

敦賀市
認知症

ほっとけんまち

ハンドブック

— シリーズ⑰ —



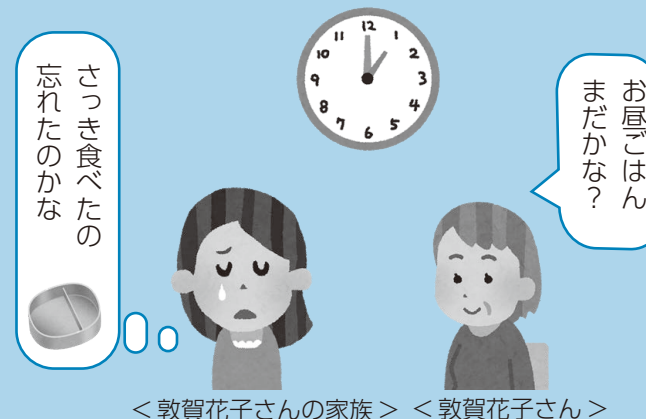
敦賀市では、「認知症ほっとけんまち敦賀」をスローガンに「認知症の方をほうっておかず、認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指し、認知症に関わる取り組みを紹介しています。ご自宅に配布していた「敦賀市認知症ほっとけんまちハンドブック」ですが、広報つるがでの発行（年1回）に変わり、今回はシリーズ⑰をお届けします。

認知症の症状と対応

～記憶障害について～

認知症による記憶障害のため覚えられない、すぐに忘れるといったことがあります。一般的に、加齢によるもの忘れは、体験の一部を忘れることに対して、認知症によるもの忘れは、体験全体（体験したこと）を忘れると言われています。そのため、最近の出来事を忘れて何度も言ったり聞いたりします。

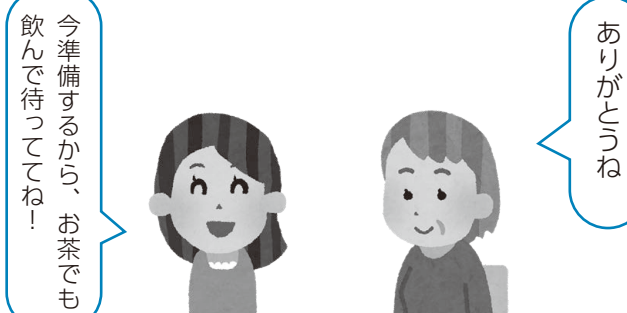
敦賀花子さんの場合



<敦賀花子さんの家族> <敦賀花子さん>

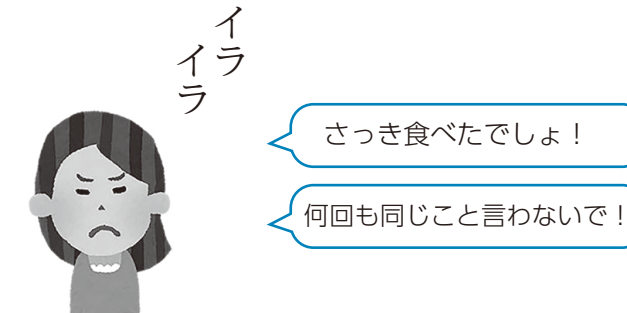
- 自分が食べたことを忘れている。
- 自分が忘れるわけがないという思いがある。
- 本人は初めて言ったり、聞いたりしていると思っている。

良い例 …



- ▶ 何度も同じことを言っても、できるだけ聞きましょう。
- ▶ 本人の好きなことなど上手く話題を変える対応をしましょう。

良くない例 …



- ▶ 相手を責めたり、否定するような言葉は使わないようにしましょう。